

ANZSNM2010(40th Annual Scientific Meeting of the Australian and New Zealand Society of Nuclear Medicine)に参加して

小林 真衣子

2010年4月23日～4月26日にかけて、ニュージーランド、オークランドで開催されたANZSNM(40th Annual Scientific Meeting of the Australian and New Zealand Society of Nuclear Medicine)に参加させて頂きました。入局した初の海外学会です。石橋先生、甲斐田先生と3人で参加しました。

ニュージーランドまでは、関西空港から14時間の長旅です。10時間を超える飛行は初体験で、腰痛や不眠にならないか不安でしたが、機内の映画に夢中であつという間の14時間でした。ニュージーランドはその時期が、秋の気候で、天候にも恵まれ、とても快適でした。

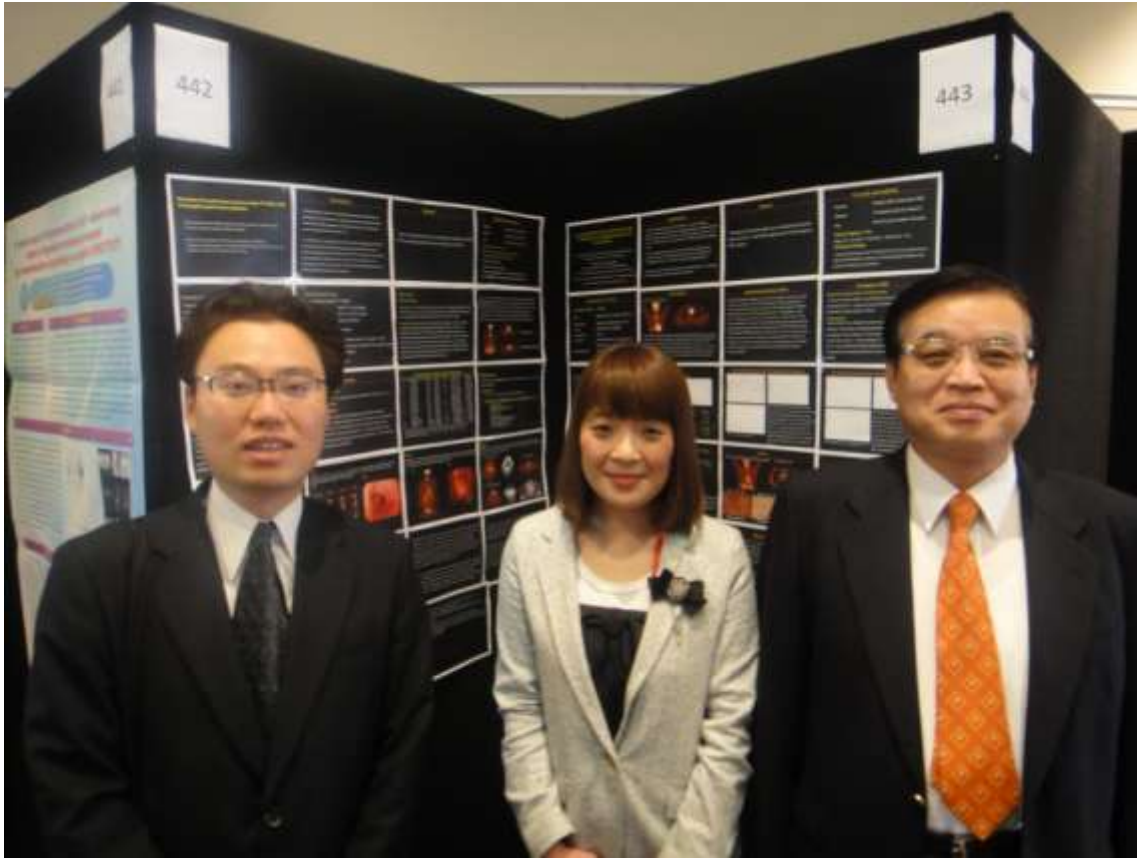
学会会場は、SKYCITY Auckland Convention Centerで、日本でいうスカイツリーのようなタワーに隣接した会場でした。朝9時に甲斐田先生とポスターを貼り、一安心して、学会へ挑みました。教育講演に症例発表、沢山の機材展示等もあり、とても勉強になりました。Oral presentationは理解するのが大変でしたが、抄録集とスライドで自分なりに解釈しました・・・(^ ^;)ポスター展示は人種の違いもでるのか、色遣い等が斬新でした。当院で使用していない薬剤の発表もあり、勉強になりました。

学会参加者の大部分はオーストラリア、ニュージーランドで勤務されているドクターで、日本人での参加者は私達だけでした。留学経験のある石橋先生はバンバン英語で参加者の方々とコミュニケーションをされていました。私は、石橋先生、甲斐田先生の金魚の糞の如く、チョロチョロと後ろをついて回っていました。

4月25日夜には日本で言う懇親会の様なパーティーが開催されました。参加者の方は、ドレスアップし、結婚式の様な会場で、前菜～デザートまでのフルコースが出ました。食事中は、ステージで、オーストラリアでは有名な歌手の方のプチコンサートが開催され、石橋先生はノリノリでした。

学会以外では、食事に大自然を満喫しました。学会会場のあるオークランドは比較的都会ですが、車で30分行くと、羊達の沢山居る農場やワイン工場、海の幸も豊富でした。物価も安く、巨大なステーキも2000円弱、牡蠣、サーモン等の海の幸もお手頃な価格で大満足の食生活を送りました。

最後になりましたが、まだまだ下っ端である私が、このような学会に参加させて頂き、早淵教授を初めとする医局の先生方、PETセンターの倉田先生、廣瀬先生、深く感謝申し上げます。今回の学会で得たことを、生かせるように今後も精進していきたいと思います。



会場のポスターの前で、石橋先生、甲斐田先生と共に。



ワイン試飲中です。石橋先生もご機嫌です。



懇親会会場にて。